

(記入例)

表面(裏面もあります)

在学校: ○○○小学校

令和4年度就学援助費受給申請書(兼同意書・委任状)

小山市教育委員会教育長 宛

記入日: R 4年 4月 10日

就学援助費を受給したいので、下記の内容について同意・承諾し、申請いたします。

- ア. この申請にあたり、小山市教育委員会がその審査に必要とする場合の住民登録上の世帯及び申請書の世帯欄に記載した全員の住民基本台帳の閲覧、市民税課税台帳の閲覧並びに申請書の生活保護、児童扶養手当受給状況、生活福祉金貸付状況等を照会することへの同意
- イ. 民生委員児童委員または小山市教育委員会が必要に応じ自宅を訪問し、生活状況等について調査を行うことへの同意
- ウ. 申請内容に虚偽があった場合に小山市教育委員会が認定を取り消す場合があることへの同意
- エ. 年度途中にウの理由等による認定取消があった際や認定を辞退した際に援助費の返還請求があった場合は速やかに返還することへの同意
- オ. 認定を受けた場合、学校長を代理人として、援助費の請求・受領・処理に関するすべての権限を委任し、援助対象費目に滞納が生じている場合には支給された就学援助費を充当することへの同意
- カ. 認定を受けた場合、そのことを民生委員児童委員へ情報提供することへの同意

※太枠内をすべて記入してください。

申請者 (保護者)	現住所	小山市○○町 △△-△△△ □□アパート×××号室			住居状況 (該当に○)
	フリガナ氏名	オモイガワ サクラコ		連絡先(電話番号)	1. 持家 (ローン:無・有) (有:月額 円)
		思川 桜子 (印)		XXX-XXXX-XXXX	
	児童生徒との続柄	母	生年月日	職業・勤務先	2. 賃貸住宅 (家賃:月額45,000円)
		S60年 3月 9日	パート (○○商事)		
1月1日現在の住所	※令和4年1月1日時点で、小山市外にお住まいの場合は記入してください。				

【申請理由】(申請理由の番号に○ ※複数可)

- 1. 市民税が非課税又は減免されている
- 2. 個人事業税、固定資産税が減免されている
- 3. 国民健康保険料の徴収の猶予がなされている
- 4. 国民年金の掛金が減免されている
- 5. 児童扶養手当を受給している
- 6. 生活福祉資金の貸付を受けている
- 7. 次のような経済的な理由により児童生徒の就学が困難である。

【添付書類】

・所得証明書または源泉徴収票(令和4年1月1日時点の住所が小山市外の場合は世帯全員分必要です)  
※令和4年1月1日時点で小山市にお住まいの方は添付書類は不要です。

(具体的に記載してください。)

母子家庭で、元夫からの養育費もなく、生活が苦しい。

【世帯欄1】<<小山市内の小・中・義務教育学校に通学し、援助を希望する児童生徒>>

	学校名	学年	氏名(フリガナ)	生年月日
児童 ・ 生徒	○○小学校	6年	(オモイガワ マサミツ) 思川 政光	H22年8月16日
	○○小学校	4年	(オモイガワ モモコ) 思川 桃子	H24年10月7日
		年	( )	H 年 月 日
		年	( )	H 年 月 日

【世帯欄2】《申請者(保護者)欄及び世帯欄1以外で、同居している家族等》

※住民票が分かれていても、同居している祖父母、おじ・おば、同居人等がいる場合には、必ず全員記入してください。所得の算出には同居している全員の所得を使用します。

※世帯員全員の前年の所得を調査しますので、必ず申告をおこなっておいください。申告していないと認定できない場合があります。

	児童生徒との続柄	氏名(フリガナ)	生年月日	職業(勤務先)または学校名・学年
その他の家族・同居人等	祖父	(オモイガワ ヨシオ) 思川 ヨシ夫	M・T S・H 37年 7月 10日	無職
	祖母	(オモイガワ キヌコ) 思川 絹子	M・T S・H 40年 2月 8日	パート (株式会社△△)
	姉	(オモイガワ ラム) 思川 らむ	M・T S・H 17年 5月 26日	〇〇高校〇年
	叔父	(オモイガワ ワタル) 思川 渡	M・T S・H 62年 6月 15日	正社員 (△△スーパー)
		( )	M・T S・H 年 月 日	
		( )	M・T S・H 年 月 日	
		( )	M・T S・H 年 月 日	

※民生委員児童委員による家庭調査がある場合があります。(全世帯が対象ではありません)  
連絡のとりやすい時間帯をお書きください。 → 平日 18時ごろ、土日 10~17時ごろ

~~~~~保護者記入欄は以上です。以下学校記入欄となりますので記入不要です。~~~~~

【学校記入欄】

◆学校生活状況等に関する情報(□のいずれかにチェックをお願いします。 ※複数可)

- 保護者の職業が不安定で、経済的に困窮していると認められる。
- 経済的困窮により、学校納付金を減免している。
- 経済的困窮により、学校納付金が滞りがちである。
- 衣服や学用品、通学用品等に不自由している様子が見られる。
- 経済的理由による欠席日数が多い。
- 上記項目には該当しない。
- その他(具体的に記載してください)

◆学校長の意見(□のいずれかにチェックをお願いします。)

※学校長意見が直接認定結果に反映されるわけではありません。参考とさせていただきます。

- 就学援助が必要と考える
- 就学援助は不要と考える
- その他(具体的に記載してください)

◆民生委員の調査 ( 有 ・ 無 )

【問い合わせ先】小山市教育委員会 教育総務課 学校支援係 TEL:0285(22)9642 又は 各学校